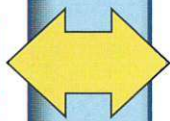


I 教育目標

やさしい子

たくましい子

考える子



II 黒門の教育ビジョン

重点目標

学びを楽しみ、
自ら学び続ける児童を育成する。

成果指標

自己調整学習を取り入れた
授業改善を目指す。



朝の登校・挨拶



入学式



教職員

III 目指す学校の姿 ～4つの柱～

「チーム黒門」で「社会に開かれた教育課程」の実現

- チーム黒門（育ての会・同窓会や地域の関係諸団体等と学校）の連携・協力で、カリキュラムマネジメントを充実させ、伝統の継承と新たな創造を目指す。
- 教育内容の可視化・発信方法のデジタル化に努める。また、子供の思いや保護者評価等を積極的に生かし、計画の見直しや組織の活性化を進め、豊かで多様な学習機会と学びの環境の充実を図る。

「確かな学力」の育成

- 自己調整しながら進める学習を取り入れた授業改善を推進し、知識・技能の確実な習得を目指すとともに、思考力・判断力・表現力等を育成し、確かな学力の向上を実現する。
- GIGAスクール構想に基づき、1人1台端末等のICT機器を子供の学びを支える道具として日常的に活用するとともに、新たな学習活動の可能性を見出していく。

「豊かな心」の涵養

- 「考え、議論する」道徳科を要とし道徳教育を充実することを通して、自立・自律した人間（二つのジリツ）として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- 難聴・言語障害通級指導学級や特別支援教室との連携を深めて特別支援教育・人権教育を推進する。また、全ての子どもたちが安心して学ぶことのできる教育環境の確保、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決・解消に組織的に取り組む。

「健やかな体」の育成

- これまでのオリンピック・パラリンピック教育を生かして、多様性への理解や体力向上を目指した運動習慣の確立を図る。
- 感染症に関する正しい知識を身に付け、感染を防ぎ、命を守る行動がとれるように指導の徹底を図る。